



エクセス りんごの棚プロジェクト ガイドブック

監修

四国学院大学社会福祉学部教授 野崎晃広

四国学院大学
shikoku gakuin university LIBRARY



書館

EXOES



読書バリアフリー



障害の有無に関わらず、すべての人が読書による、文字・活字文化の恩恵を受けられる社会を目指す取り組みです。

日本では、2019年6月に「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」(通称:読書バリアフリー法)が成立しました。この法律は、視覚障害や発達障害、上肢障害など、様々な理由で紙の書籍を読むことが困難な人々の「読書権」を保障することを目的としています。



りんごの棚って何？



りんごの棚は、特別な配慮が必要な子どもたちを対象に、利用しやすい形式の資料(アクセシブルな資料)を集めた本棚のことです。すべての子どもたちに本を読む喜びを体験してもらう場所として、1993年にスウェーデンの公共図書館で始まり、現在では日本を含む世界中の図書館に広がっています。

名前の由来は、ロンドンの図書館にあった言語障害のある子どもたちを支援するための、りんごのおもちゃからきています。

「りんごの棚」のロゴマークは、2005年にスウェーデンの公共図書館で、アクセシビリティに関する取り組みの一環で作成されました。現在は、りんごの棚の普及活動のシンボルマークとして、商用使用を除いて、どの図書館でも自由に活用することができます。



エクセス版りんごの棚


さわって
楽しむ本

LLブック

写真やイラスト、ピクトグラム
などを用いて、分かりやすい
表現になっている図書のこと
です。


大きな字の本


点字の
図書・絵本

手話つき絵本

オーディオブック

図書の内容を耳で聞いて読書
が楽しめる音声コンテンツのこ
とです。

マルチメディア DAISY

音と一緒に文字や画像が表
示されるデジタル図書です。

不登校

ヤング
ケアラー

うつ病

発達障害

性的
マイノリティー

エクセス版のりんごの棚は、障害の有無だけでなく、
様々な形の生きづらさを抱えた人たちの力になれるような場所を目指しています。

エクセスりんごの棚プロジェクト

「エクセス・りんごの棚プロジェクト」とは、読書バリアフリーを軸に展開する展示やイベントを通して、障害の有無に関わらず、生きづらさを抱える人たちの“声”を聞き、すべての人に開かれたアクセシブルな図書館を目指す取り組みです。

障害や生きづらさを抱えた当事者と、支援する人たち、そして福祉を学ぶ学生が、同じ目線で様々な課題について語り合い、連携し、よりよい社会の構築に貢献できることを目指しています。

「りんごの棚」からはじまるインクルーシブな取り組みに、多くの方が賛同してくださることを願っています。



- 文部科学省 視覚障害者等の読書環境の整備（読書バリアフリー）について
https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/1421441.htm
- りんごプロジェクト「NPO法人ピープルデザイン研究所」
https://peraichi.com/landing_pages/view/ringoprojectbook/